

# いきいき



## 家族経営協定で、 やりがいのある 農業経営を

柴橋の佐竹芳彦さん一家は、平成22年に家族経営協定を息子夫婦と4人で結びました。

経営作物は、ぶどうやさくらんぼ等の果樹と水稲で、芳彦さん夫婦は主に水稲を、息子の芳樹さん夫婦は果樹を担当し、家族みんなで力を合わせ、いつも楽しく仕事をしています。

この協定は、家族経営における作業の役割分担、給与、就業条件等を文書化し、それぞれが責任とやりがいを持って行うようにするものです。

市内でこの協定を締結している家族は、現在15組となっています。



寒河江市農業委員会の更なる発展を目指して

# 第21期体制がスタート

この度の農業委員選挙により当選した 15 名の選挙委員に加え、関係機関から推薦された選任委員 5 名の合計 20 名の委員が、新たに決まりました。

今年度から始まった農地中間管理事業による担い手への農地の集積、耕作放棄地や無断転用の発生防止と解消等、農業委員会の果たす役割はますます重要になっており、新体制において寒河江市の農業の発展と活性化を図っていきます。

委員の任期は、平成 26 年 7 月 20 日から平成 29 年 7 月 19 日までです。



渡辺 宏  
会長職務代理者  
第1選挙区 4期

そのために、微力ながら全力で努める所存でありますので、ご指導、ご協力のほどよろしく  
お願い申し上げます。

その一環として、私も農業委員会では、平成23年に耕作放棄地再生プロジェクトチームを立ち上げ、委員自ら再生活動を行い、耕作放棄地の解消に努めてまいりました。これからも、寒河江市の農業の発展のために活発に活動してまいります。

この度の農業委員の改選により、寒河江市農業委員会会長職に就くことになりました。昨今、TPPや経営所得安定対策の見直しなど、農業を取り巻く情勢は大きく変わってきております。しかし、私はまず自分たちの足元である寒河江市の優良農地を守り、農地中間管理事業等を活用しながら担い手へ農地を集約し、地域全体で揺るぎない農業を作り上げていきたいと考えております。

会長あいさつ



木村 三紀  
会長  
第5選挙区 6期



小野 義和  
第1選挙区 1期



菊地 ひとみ  
広報副委員長  
第5選挙区 2期



土田 彦雄  
農業振興常任副委員長  
第2選挙区 2期



加藤 友康  
農地常任副委員長  
第2選挙区 2期



奥山 眞治  
農業振興常任委員長  
広報委員長  
第3選挙区 4期



黒田 祐一  
農地常任委員長  
第1選挙区 3期



猪倉 通文  
第4選挙区 1期



影沢 政俊  
第4選挙区 1期



大泉 邦彦  
第3選挙区 1期



石山 邦一  
第3選挙区 1期



鈴木 久一  
第2選挙区 1期



菅井 孝一  
第1選挙区 1期



眞木 早百合  
選任委員(2号委員)  
市議会推薦



菊地 弘美  
選任委員(2号委員)  
市議会推薦



柏倉 吉美  
選任委員(1号委員)  
土地改良区推薦



土屋 喜久夫  
選任委員(1号委員)  
農業共済組合推薦



佐藤 義広  
選任委員(1号委員)  
農業協同組合推薦



相原 稔  
第4選挙区 1期

# 行政視察レポート

## 復興の意気込みに感動

今回私たちは、東日本大震災後の復興に向け取り組んでいる現地を4月17〜18日の2日間、視察してきました。

最初に訪問した宮城県岩沼市の土地利用型法人「玉浦南部生産組合」では、大村事務局長さんが、震災当時の状況を次のように語ってくれまし

た。「大津波により農地は全滅し、農機具や施設の流出など甚大な被害を受けたが、この地でなんとか農業を再開しなければと、みんなと幾度となく話し合いを重ねた結果、再生できました」。

大村さんたちは、単なる再生ではなく若い人達の就農へも繋がるよう農地の集約を積極的に図り、新しいライスセンターや野菜ハウス等を建設するなど前向きに行動しており、その姿に私達は深く感動してきました。

次の日は、岩手県大船渡市の海沿いにある吉浜地区再開発事業の現地視察です。この事業の代表である柏崎さんは、「この地区は先人からの言い伝えにより住宅

は高台に建てていっているので、海の近くで耕作している水田は被害にあつたものの、人的被害はありませんでした。また、基盤整備事業への取り組みは、地区の人々が希望を捨てず、団結して復旧に前向きに取り組むことにした結果です」と語り、3年ぶりとなる秋の収穫を心待ちにしている様子が強く伝わってきました。

このように、復興に対するパワーと団結力は各地域共すばらしいものがありました。私たちは、今回の視察研修の成果を、今後の活動に活かしていきたいと考えています。



岩沼市玉浦南部生産組合の取り組み



大船渡市吉浜地区再開発事業



## お疲れ様でした

農業委員として、長い間ご尽力いただいた7名の方が退任されました。

- (前列左から) 加藤哲郎 (4期)・高子武 (5期)・犬飼俊一 (5期)
  - (後列左から) 佐竹芳彦 (3期)・安孫子豊喜 (4期)・佐藤富美夫 (4期)・今野敏夫 (3期)
- (敬称略)

8月下旬〜9月上旬にかけて、市と農業委員会、農地利用改善組合等で、耕作放棄地や違反転用等がされていないかを調査します。ご協力よろしく申し上げます。

## 農地パトロールを実施します!!



農業者年金に加入しましょう!!

農業者年金は、60才未満の国民年金一号被保険者で、年間60日以上農業に従事している方ならだれでも加入できる公的年金です。詳しくはお近くの農業委員まで。

# いきいきレディー インタビュー



自然の豊かさを  
伝えたい

土田 妙子さん  
(道生：56歳)



今回訪問した土田妙子さんは、夫の好悦さんと共に米・大豆・さくらんぼ・花等を生産しており、「夫とは、一年中ほとんどずっと一緒に」と笑顔で話し始めてくれました。

「去年、農業委員会が企画した『女性の集い』に参加して、今まであまり他の農家の方を知らなかったのですが、たくさんの人と知り合いになれてとてもよかったです。是非また企画してほしい。そして、農家じゃないとわからない苦労や悩み等を話し合える人との出

会いの場がもつとほしい」とのことでした。

土田さんにとって楽しいことは、花のハウスで最初に咲いた花を見た瞬間だそうです。そしてもう一つは、毎年夫と2人で旅行に行くことだそうです。本当にうらやましいおしどり夫婦だなあ、と感じました。

また、「農業は大好きだし、つらいことは全然ない」と即答。「農業は、草花の匂いや季節ごとの風を感じられる。特に、オレンジ色の綺麗な夕焼け空の下で仕事ができるのは農業の特権。新たな職業を考えている方には、絶対お勧めですね」と、熱いメッセージをいただきました。

(菊地弘美委員)



ストックのハウスで

## さくらんぼ園地を視察

は、「さくらんぼ生産振興の推進状況を見るとそれぞれのメリットとデメリットがある

農業委員会の農業振興常任委員会では、5月26日に、市が第5次振興計画で取り組んでいるさくらんぼの生産体制の整備とブランド化の推進状況について、低木Y字仕立て栽培や無加温ハウス、紅秀峰の栽培の現状について視察してきました。参加した委員から



Y字仕立の園地にて

ので、今後それらを丁寧に説明しながら推進していく必要があるのではないか」という意見が出されました。

### あ と が き

近年天気が変である。特に、暑さが厳しく長くなっている。ままならぬものの代表が天気であるが、農業にとって最も影響の大きなものである。ほどほどの間で、そこそこの雨量が、今欲しい！

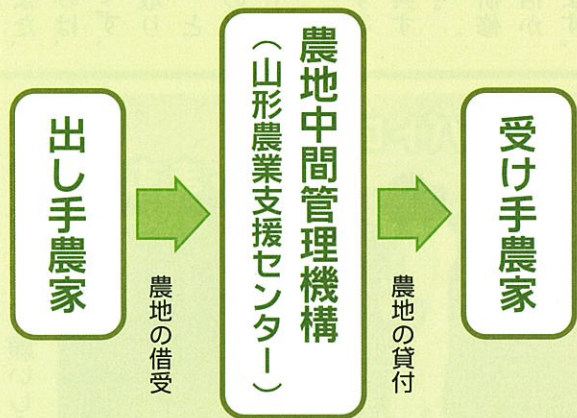
(黒田委員)

### 広報委員会

◎奥山 眞治 ○菊地ひとみ  
相原 稔 菊地 弘美  
菅井 孝一 眞木早百合

## 「農地中間管理事業」が始まりました

「農地中間管理事業」は、農地中間管理機構が、農地を貸したい農家から借り受け、農業経営の効率化や規模拡大を図る担い手農家等へ面的集積をして貸し付ける事業です。



中間管理機構を利用し、まとまった農地で効率的に経営を行いましょう！

農地を借りたい方は市農林課へ、農地を貸したい方はJAさがえ西村山へお申し込みください(募集期間があります)。

出し手農家、受け手農家とも様々なメリットがあります。

詳しくはやまがた農業支援センターのホームページ

(<http://www.yamagata-nougyo-sc.or.jp>) または市農林課まで。